

# 八都県市地球温暖化防止一斉行動（エコウェーブ）報告書

## 1 概要

八都県市首脳会議環境問題対策委員会（埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、横浜市、川崎市、千葉市、さいたま市）は、住民・事業者と連携して、平成 20 年 7 月に地球温暖化防止一斉行動（エコウェーブ）を実施した。

これは、平成 19 年 11 月に開催された第 52 回八都県市首脳会議において横浜市から提案した企画で、北海道洞爺湖サミットの機会を捉え、首都圏から地球温暖化防止を国内外にアピールするため、八都県市の行政・事業者・住民が連携して、「明かり（電気）をけす」、「明かり（電気）をかえる」、「明かり（電気）をえらぶ」の三つのテーマに一斉に取り組んだものである。

## 2 明かりをけす（一斉消灯+キャンドルナイト）

・八都県市において選定地区を設定して、北海道洞爺湖サミットの初日である平成 20 年 7 月 7 日（月）を一斉行動日として、20 時～20 時 10 分の 10 分間について一斉消灯を実施した。なお、環境省主催のライトダウンキャンペーンとの連携を考慮して、上記時間に続き、可能な範囲で 22 時までの消灯を呼びかけた。

### 【横浜・みなとみらいにおける一斉消灯の状況】



消灯前



消灯後

・また、一斉消灯に合わせて「100 万人のキャンドルナイト」と連携して、キャンドルナイトの実施やその呼びかけに取り組んだ。キャンドルナイトの実施に当たっては、100 万人のキャンドルナイト事務局、社団法人日本青年会議所関東地区協議会、カメヤマ株式会社（カメヤマローソク）の協力を得ることができた。

・100 万人のキャンドルナイトには、八都県市として「キャンドルホルダー」になって支援を行うとともに、ホームページにおいてエコウェーブの紹介をしていただいた。また、キャンドルナイトに使用するキャンドルの無償提供もいただいた。

・カメヤマローソクからは、イベント時の配布用としてキャンドルを各自治体に 144 セットずつ無償提供いただいた。(写真右) このキャンドルは蜂蜜の巣を溶かして作られた蜜蝋(みつろう)を使用した自然素材 100%の製品であり、石油起源のものとは違い、燃焼しても CO<sub>2</sub>が増加しない「バイオ燃料」と同じ扱いの製品である。



・選定地区はさいたま新都心、幕張新都心、箱根町、川崎駅周辺、みなとみらい 21 地区、臨海副都心等であり、それぞれの地区において、工夫を凝らしたイベントを開催するなどして、雰囲気盛り上げた。(各会場のイベントの詳細は後述。)

・一斉消灯の成果の一つとして参考ではあるが、環境省のライトダウンキャンペーンホームページに登録し、20 時からの 2 時間消灯に参加した施設を集計すると、次のようになる。

○八都県市内での一斉消灯施設数	2,926 施設
○削減した使用電力量	79,127 kWh
○削減した二酸化炭素排出量	30.85 t (約 2,170 世帯の一日の排出量に相当)
※この集計は、20 時から 2 時間の消灯に参加した施設の結果を集計したもの。	

・また、選定地区以外の施設等の消灯についても、各地域の商工会議所を通じて協力要請を行うとともに、ポスター等により啓発を行った。

### 3 明かりをかえる(電球形蛍光灯への交換)

・一斉行動日のイベントにおいて、各選定地区において電球形蛍光灯を無料で配布(各自治体 200 個ずつ、東京都のみ 300 個)し、環境に配慮した省エネ型の電球形蛍光灯の普及啓発を行った。

・電球形蛍光灯については、社団法人日本電球工業会を通して、NEC ライティング株式会社、東芝ライテック株式会社、日立ライティング株式会社、松下電器産業株式会社 照明社、三菱電機オスラム株式会社の協力を得て、低価格の単価で入手することができた。(写真右)



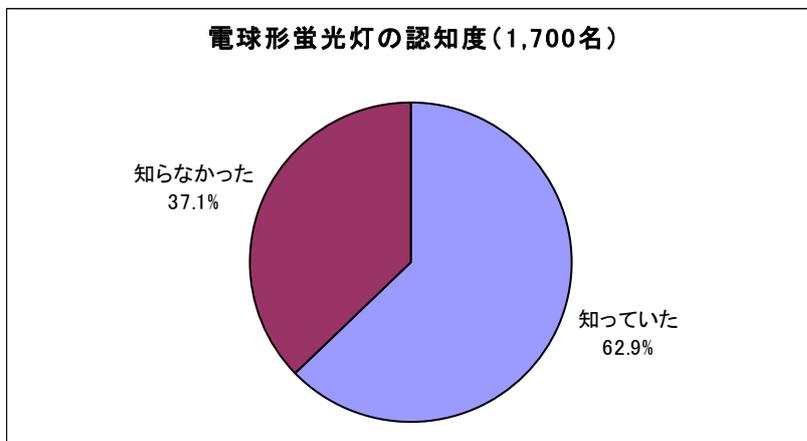
・なお、配布に当たっては、各イベント会場において電球形蛍光灯を PR するチラシを配布するとともに、合わせて電球形蛍光灯の認知度について質問を行った。結果は以下のとおり。

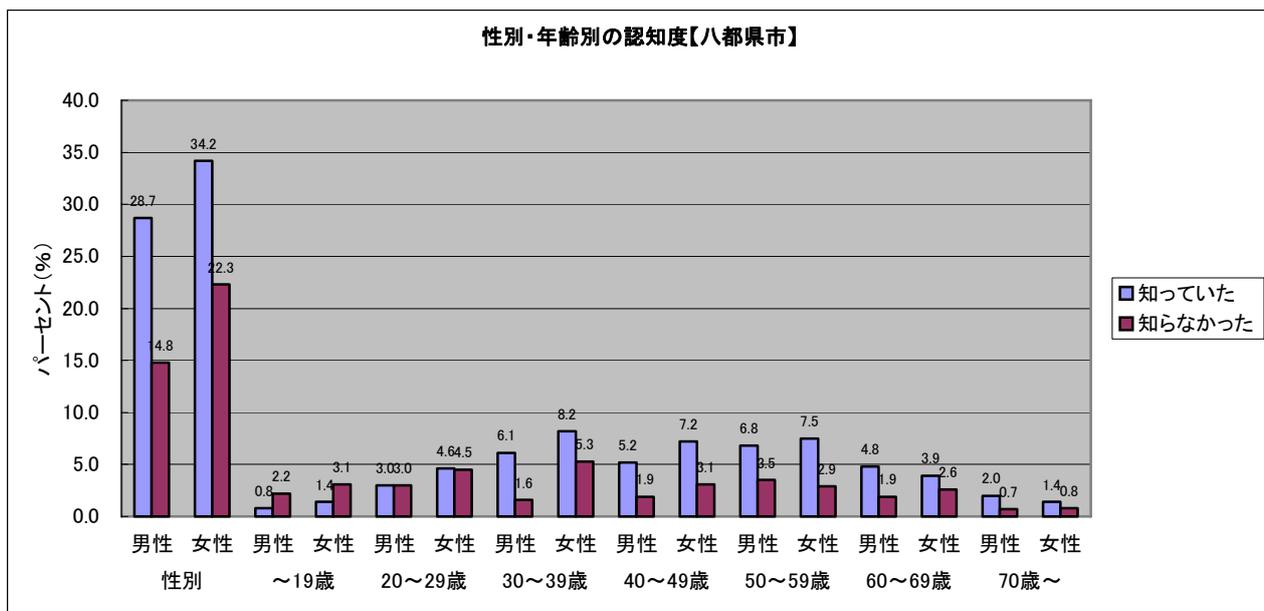
(アンケート結果)

・6 会場において、総計 1,700 人の方に伺った結果、電球形蛍光灯を知っていた人は全体の約 63%であり、知らないと答えた人は約 37%であった。

・男女別では、男性では「知っていた」65.8%、「知らなかった」34.2%、女性では「知っていた」60.4%、「知らなかった」39.6%となった。

・年代別に見ると、男女とも、20 歳代までの若い層では「知らなかった」が多く、30 歳代以上の年齢層では「知っていた」が多くなる傾向が見られた。





・また、家電量販店の協力を得て、電球形蛍光灯普及拡大キャンペーンを実施した。

**【各社のキャンペーン概要】**

株式会社 ヨドバシカメラ	<p>「白熱電球を電球形蛍光灯に取り替えるだけで器具はそのまま使えるの?」、「電球形蛍光灯はすぐに明るくならないと聞いたけれど実際はどんなの?」、「白熱電球のように温かい色のものは無いの?」といった電球形蛍光灯についての様々な疑問を解決し、身近にできるCO<sub>2</sub>削減行動『電球形蛍光灯へ取り替え』のキャンペーンを実施した。</p> <p>また、キャンペーン期間中に指定の電球形蛍光灯を現金購入者に対し、通常10%のポイント還元率を更に5%アップした、15%還元とするセールを実施した。</p>
株式会社 コジマ	<p>電球形蛍光灯について、現金特価に加え「省エネ家電買い替えポイント」とし、通常の5倍のポイントを進呈した。</p> <p>そのほか、市内店頭で省エネ家電の普及推進に関する店頭イベントを実施した。</p>
株式会社 ケーズホールディングス	<p>電球形蛍光灯普及のため、チーム・マイナス6%の『私のチャレンジ宣言カード』を提示した方に対して電球形蛍光灯購入時に、店頭表示価格より『10%現金値引!』を実施した。</p> <p>実施期間は、平成19年11月17日(土)～平成20年9月30日(火)。</p> <p>省エネ型製品の普及と店舗の省エネに努め、社員一人一人が地球温暖化と真剣に向き合い、CO<sub>2</sub>削減に取り組む姿勢とした。</p>
株式会社 ビックカメラ	<p>チーム・マイナス6%が掲げる「1人1日1kgのCO<sub>2</sub>削減」応援キャンペーンに協賛し、省エネ型製品の一層の普及促進、CO<sub>2</sub>の削減を図るため「CO<sub>2</sub>削減!省エネ型製品買い替えキャンペーン」を実施した。</p> <p>&lt;キャンペーン内容&gt; 指定の電球形蛍光灯を購入の際に、「私のチャレンジ宣言」カードを提示した購入者に対し、レジにて10%引きにて販売した。</p> <p>&lt;キャンペーン期間&gt; 平成19年7月9日～終了未定</p>

#### 4 明かりをえらぶ（再生可能エネルギーの普及）

・二酸化炭素排出量の少ない再生可能エネルギーの普及のため、一部の選定地区においてグリーン電力証書の普及啓発を実施した。これは、特定非営利活動法人環境エネルギー政策研究所の協力を得て、同研究所が進める「1億人のグリーンパワー・キャンペーン」と連携して、グリーン電力絵葉書などによりPRを行ったものである。

・また、エコウェーブに連動して、プロ野球やJリーグのご協力を得て、一斉行動日前後に開催された試合について、試合中使用する電力（一部又は全部）について「グリーン電力証書」を購入することでカーボンオフセットとした。

・特にJリーグにおいては、八都県市の全10クラブが連携してエコウェーブに協力して取り組むことを決定し、総計3万8千kWhのグリーン電力証書を購入したことを、6月24日、Jリーグ本部において鬼武健二チェアマンが記者会見で公表した。この記者会見には、八都県市を代表して阿部守一・副市長も出席しJリーグの協力に対して謝辞を述べた。

##### 【プロ野球】

チーム名	開催日時	試合会場	対戦チーム名
埼玉西武ライオンズ	7月5日(土)14時～	西武ドーム	東北楽天イーグルス
千葉ロッテマリーンズ	7月5日(土)18時～	千葉マリンスタジアム	福岡ソフトバンク

##### 【Jリーグ】 ※ 首都圏の全10クラブで開催

チーム名	開催日時	試合会場	対戦チーム名
浦和レッドダイヤモンズ	7月5日(土)19時～	埼玉スタジアム2002	F C 東京
大宮アルディージャ	7月12日(土)19時～	NACK5 スタジアム大宮	ジュビロ磐田
ジェフユナイテッド市原・千葉	7月13日(日)19時～	フクダ電子アリーナ	コンサドーレ札幌
柏レイソル	7月6日(日)19時～	日立柏サッカー場	ガンバ大阪
F C 東京	7月2日(水)19時～	味の素スタジアム	大分トリニータ
東京ヴェルディ	7月12日(土)18時～	味の素スタジアム	京都サンガF. C.
川崎フロンターレ	7月6日(日)19時～	等々力陸上競技場	横浜F・マリノス
横浜F・マリノス	7月13日(日)19時～	ニッパツ三ツ沢球技場	アルビレックス新潟
横浜F C	7月6日(日)19時～	日産スタジアム	ザスパ草津
湘南ベルマーレ	7月5日(土)19時～	平塚競技場	水戸ホーリーホック



両写真とも 左：鬼武健二チェアマン 右：阿部守一・横浜市副市長

## 5 エコウェーブの広報

エコウェーブの広報について、さまざまな手法を用いた。

### (1) ロゴマークの選定



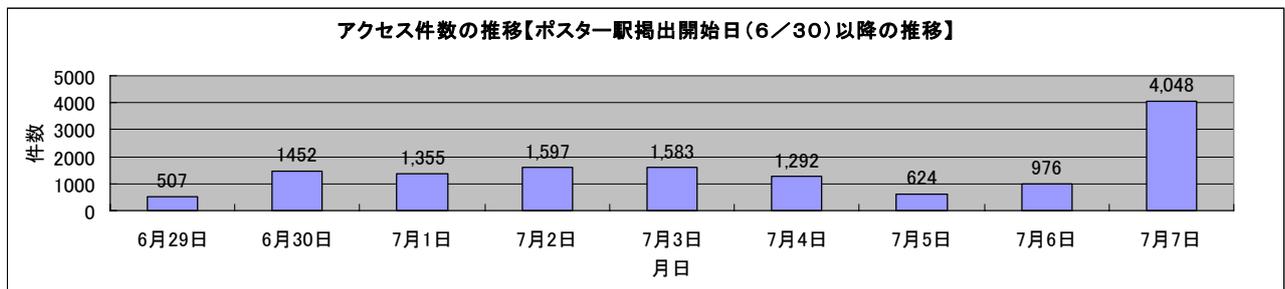
エコウェーブの統一感を醸成するため環境問題対策委員会幹事会においてエコウェーブロゴマークを決定し、ホームページ、ポスター、チラシ等、あらゆる場面で使用していくことで、エコウェーブのPR促進を図った。

### (2) ホームページ

八都県市首脳会議環境問題対策委員会のホームページ (<http://www.8tokenshi-kankyuu.jp/>) において、エコウェーブの広報を行った。ここでは、「けす・かえる・えらぶ」の行動を呼びかけたほか、一斉消灯施設について環境省のライトダウンキャンペーンホームページへ登録するようPRした。また、関連協力団体のホームページとのリンク付けも行い、エコウェーブの拡大を図った。



### 【アクセス件数の推移】



### (3) ポスター

環境問題対策委員会幹事会においてポスターの図案（OFFする日）を決定し、各都市300枚ずつ配布し、各自治体の公共施設等に掲出したほか、首都圏の主要駅にも掲出した。（左）

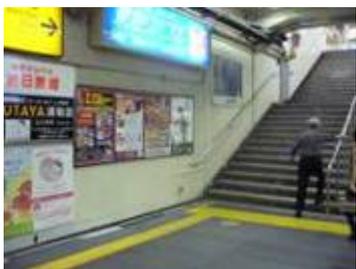
### (4) チラシ

合わせてチラシを24,000枚(各自治体3,000枚ずつ)作成し、事前広報や当日のイベントなどで配布した。チラシの表面はポスターと同じ絵柄を採用し、裏面については電球形蛍光灯のメリット、カーボンオフセットゲームの情報、各イベント会場の情報などを掲載した。

(5) 各自治体の広報紙への掲載

各自治体の6月号の広報紙において、エコウェーブイベントの告知とともに、一斉消灯の実施を呼びかける記事を掲載した。

【エコウェーブポスター 主要駅への掲出状況】

駅名	掲出期間	掲出枚数	写真	
JR大宮駅	7/2-7/8	2枚		
JR さいたま新都心駅	7/2-7/8	2枚		
JR浦和駅	6/30-7/6	1枚		
JR船橋駅	7/2-7/8	2枚		
JR千葉駅	7/2-7/8	2枚		

駅名	掲出期間	掲出枚数	写真	
JR幕張本郷駅	6/30-7-6	2枚		
JR東京駅	7/2-7/8	2枚		
JR新宿駅	7/2-7/8	2枚		
JR池袋駅	7/2-7/8	2枚		
JR渋谷駅	7/2-7/8	2枚		
JR川崎駅	7/2-7/8	2枚		

駅名	掲出期間	掲出枚数	写真	
JR関内駅	7/2-7/8	2枚		
JR小田原駅	7/1-7/7	2枚		
みなとみらい線 横浜駅	6/30-7/7	2枚		
みなとみらい線 みなとみらい駅	6/30-7/7	2枚		

【ポスター掲出駅】

- 埼玉県（JR 大宮駅、JR さいたま新都心駅、JR 浦和駅）
- 千葉県（JR 船橋駅、JR 千葉駅、JR 幕張本郷駅）
- 東京都（JR 東京駅、JR 新宿駅、JR 池袋駅、JR 渋谷駅）
- 神奈川県（JR 川崎駅、JR 関内駅、JR 小田原駅、みなとみらい線横浜駅、みなとみらい線みなとみらい駅）

## 6 各イベント会場における状況報告

### 【各会場における共通の取組】

- ・ 20:00～20:10 の一斉消灯（各庁舎含む）
- ・ 電球形蛍光灯の配付

### 【埼玉県・さいたま市】

実施場所：さいたま新都心（集客数：約1,800人）

実施内容：

- ①一斉消灯（ライトダウン）：さいたま新都心地域の20以上の施設  
10分間の一斉消灯を実施。レストラン街のテナントにも消灯協力を依頼。
- ②キャンドルナイト：さいたま新都心一帯で実施。計7千本のローソクを使用。オノ・ヨーコさんの許可を得て、ジョン・レノンの肖像を描き、洞爺湖サミットに向けてアピールした。実施主体は、日本青年会議所埼玉ブロック協議会
- ③カウントダウンセレモニー：埼玉県知事、さいたま市長、県商工会議所連合会、日本青年会議所埼玉ブロック協議会による「地球温暖化対策共同アピール」を発表。
- ④きてみて発見！環境コーナー：24の企業、環境団体ならびに国、県、市が環境への取組をパネル等でアピール。同時に地球温暖化防止等の願いを書いた短冊を飾った七夕飾りを設置国（環境省関東地方環境事務所）との共催事業
- ⑤キャンドルナイトコンサート：  
さいたま観光大使の“ほわいていず”と埼玉ストリートミュージシャンのアッシーによるコンサート
- ⑥ NACK5 による現地レポート



ジョン・レノン(準備中)



ジョン・レノン (キャンドルナイト)

【千葉県・千葉市】

実施場所：幕張新都心（集客数：約800人）

実施内容：1. 幕張新都心のビル群（業務ビル、ホテル等を含む）約 25 施設で一斉消灯（部分的なものを含む）

2. セタ飾りづくり（幕張ベイタウンコア）

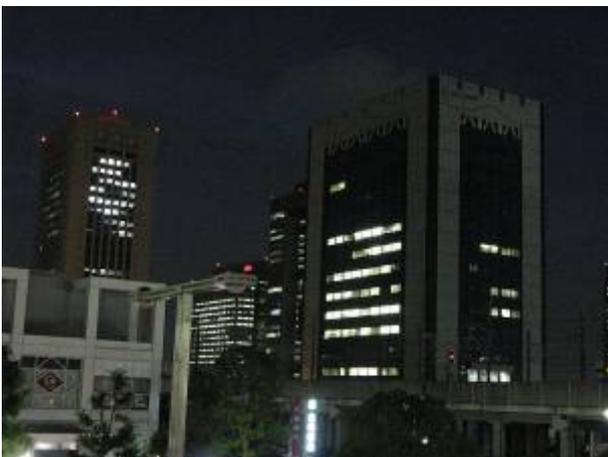
子供たちによるセタ飾りの製作

3. ステージイベント（ワールドビジネスガーデン・アトリウム）

① セタイベント：子供たちによるセタ飾りの飾りつけとメッセージ発表

② 環境パフォーマンス：環境パフォーマーによる科学マジック・ジャグリング等

③ bayfm 公開生放送



消灯前



消灯後

【東京都】

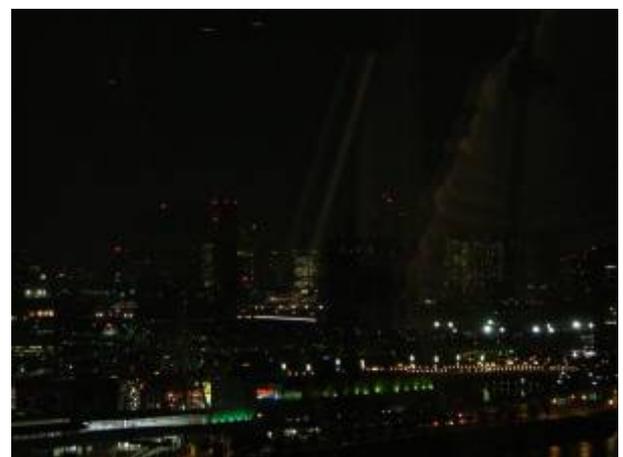
実施場所：臨海副都心・新宿駅

実施内容：・18時から新宿駅西口広場イベントコーナーとゆりかもめ「テレコムセンター」駅改札前の2会場で省エネ節電実践行動アンケート及び緑の東京募金PR等を実施。

・フジテレビやパレットタウンの観覧車などで一部消灯 など



消灯前



消灯後

## 【神奈川県】

実施場所：箱根（集客数：約250人）

実施内容：彫刻の森美術館でキャンドルナイトを実施

- ・ステージイベント（かながわ環境大使“白井貴子”ミニライブ、一斉消灯カウントダウン、グリーン電力証書説明、電球形蛍光灯デモンストレーションなど）
- ・ブース出展（電球形蛍光灯配布、電気自動車展示、電動アシストサイクル展示など）



消灯前



消灯後

## 【川崎市】

実施場所：川崎駅周辺（集客数：約2,000人）

実施内容：●消灯カウントダウンイベントの開催（川崎市長・川崎商工会議所会頭によるメッセージの読み上げ及びゲストライブ（坂本美雨、おおはた雄一））

- メッセージキャンドルの配布と装飾、スタンプラリー、啓発パネルの展示
- かわさき星空ウォッチング
- その他（川崎駅周辺商業・業務施設及び川崎市役所等各庁舎・市民利用施設等の消灯（一部消灯含む） ※カウントダウンイベント会場及び市役所本庁舎の使用電力をグリーン電力証書を購入してカーボンオフセット
- 「キャンドルナイト in 川崎」パネル展の開催（7月17日～20日）



駅前の消灯前(上)と  
消灯後(下)の様子



会場に並べられてたメッセージキャンドルとゲストライブの様子

## 【横浜市】

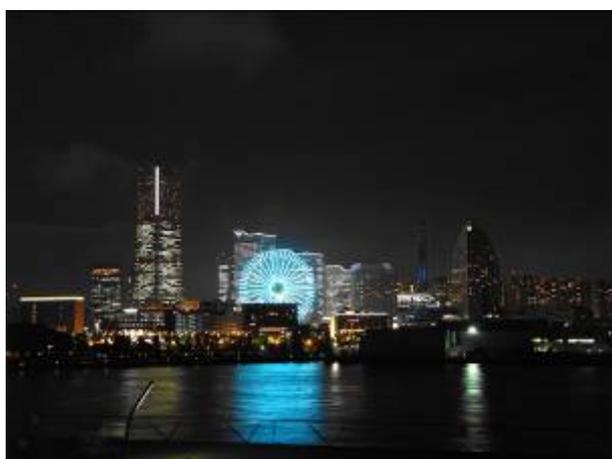
実施場所：みなとみらい21（集客数：約2,300人）

実施内容：①一斉消灯（ライトダウン）

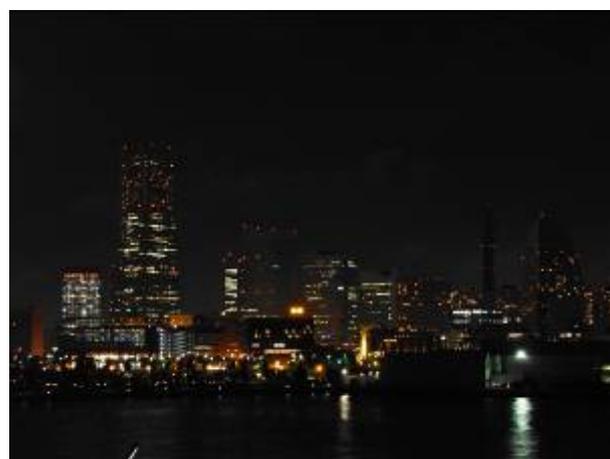
：ライトアップ施設（コスモクロック等）は、20:00 から2時間の消灯。みなとみらい21地区の事業者に消灯依頼するとともに、ホテル（横浜ロイヤルパークホテル等）にも、宿泊者への消灯協力を依頼。

②キャンドルイベント：運河パークおよび汽船道で、市民団体等とともに実施。

③ライトダウンセレモニー：市長、リサ・ステッグマイヤーさん、地元の本町小学校児童、みなとみらい関係者等が参加して、20:00 に合わせてカウントダウンセレモニーを実施。



消灯前



消灯後

※なお、みなとみらい会場の様子は、NHK-BS2において放映された。これは、20時からの一斉消灯の様子を札幌、東京、京都、横浜を中継したもので、その画像は北海道洞爺湖サミットの会場に伝えられた。

## 7 最後に

八都県市環境問題対策委員会が主催した地球温暖化防止一斉行動（エコウェーブ）は、一斉行動日である7月7日は好天にも恵まれ、6会場で総計7,000人以上の方々が集まって成功裏に終えることができた。

八都県市が連携して一斉に行動を起こすのは、今年が初めての試みであるが、ご協力いただいた組織・団体も非常に多岐に渡り、エコウェーブの取組は大きな広がりを見せることができた。

地球温暖化問題をめぐる情勢は、依然として厳しいものがある。八都県市としても引き続き脱温暖化の取組を継続してまいりたい。